

日本地質学会第 126 年学術大会 (山口大学) 会期中の集会「人生 100 年時代のシニア地質屋の集い：NPO 法人設立の呼びかけ」開催記録

1. 集会の名称・開催日時・会場

名称：人生 100 年時代のシニア地質屋の集い：NPO 法人設立の呼びかけ

主催：特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センター

日時：2019 年 9 月 24 日, 12:00-13:30

会場：山口大学理学部第 3 セミナー室

参加者：7 名 (北海道総合地質学研究センターから君波和雄と岡村 聡)

2. 経過

2019 年 7 月初旬に志岐常正氏から君波和雄に、亡くなられた中沢圭二氏の遺品である諸資料 (ルートマップや地質図) の取り扱いに関して、日本地質学会山口大会の夜間小集会で問題提起を行いたいという連絡があった。しかし、すでに夜間小集会の申込期限を過ぎていたこともあり、君波は、昨年日本地質学会札幌大会で開催されるはずであったが北海道胆振東部地震のために中止となった夜間小集会「人生 100 年時代のシニア地質屋の集い」と同趣旨の集会を開催し、その中で志岐常正氏からの問題提起をうけたいと考え、志岐常正氏の同意を経て、この集会の開催に至った。開催にあたって広報用にチラシ約 50 枚を作成し、君波と岡村 聡が地質学会会場にて知人に趣旨説明をするとともに、チラシを配布した。なお、会場の確保には大和田正明氏はじめ山口大学関係者の多大なご協力を得た。記して感謝する。

3. 集会の概要

この集会には北海道総合地質学研究センターから君波と岡村が出席し、主催者として進行役を担った。他に志岐常正、小林哲夫、公文富士夫、今岡照喜、川端清司の各氏が参加された。最初に君波が前田仁一郎の準備したスライドをもとに北海道総合地質学研究センターの活動や NPO 法人設立の手順などを説明し、志岐常正氏が地質一次資料の保管に関する問題提起を行った。その後、比較的短時間ではあったが、NPO 法人設立の意義や一次資料保存に関する議論が渾然一体となって行われた。

4. その他

今回の集会の反省点と改善点として、以下を挙げておく。

- (1) 来年 (2020 年)、名古屋大学で開催される日本地質学会学術大会においても「人生 100 年時代のシニア地質屋の集い」を開催する方向で検討する。
- (2) 早めに準備し、学会のスケジュールにきちんと組み込んでもらい、開催の周知徹底をはかる。
- (3) 各地域で核となりそうな人を予めリストアップし、それらの人たちに集会の趣旨と集会への参加要請を送っておく。

以上。